

令和4年度先進校等調査研究事業の派遣研修報告書の発行にあたって

日立市教育研究会長 中島 修

日立市教育研究会は、教員の教育力の向上を図り、本市教育の振興を目指して、各事業並びに専門部の研修を行ってきました。その中でも、「先進校等調査研究事業」は、創意を生かした特色ある教育活動の充実のために、先進校等の教育実践の状況を研修視察し、よりよい取り組みを所属校の教育活動に取り入れたり、新しい指導法を導入したりと直接的であり実効性の高い研修です。

私たちは、これからを生き抜く子どもたちの教育に携わるプロとして、自信を持って、それぞれの持っている専門性を発揮していけるよう、自分自身の指導技術や教育観をブラッシュアップしていく必要があります。この研修で得たことが、その一助となり、今後の教育活動に生かされていくことを会長として期待しています。

そして、この研修で調査研究に臨まれた皆さんにとって、自己のキャリアアップになることと共に、学んできたことや得られた内容を、自校はもちろん市内全体にも広めていただけることを願っています。そして、それが市内の教育水準の向上につながっていくことが、この研修の大きなねらいの一つです。ぜひ、よろしくお願いいたします。

令和4年度は、各学校から29名、教育研究会の専門部から2名、計31名の先生方がこの研修に参加されました。研修テーマを見ると「主体的」「未来を拓く」「対話」「ICT」などのキーワードが並んでおり、これからの教育を担う先生方の求めるものが、ここに反映されているように思います。

多くの教職員の皆さんに、この報告書を読んでいただき、そして研修成果を本市教育に関わる教職員で共有し、「すべては子どもたちのために」という合い言葉の下、力を合わせながら、未来を生き抜く子どもたちの育ちを支えていきたいと思います。